

平成23年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】（第2回）

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター120万件に対して調査対象の要件確認を行い、これに応じた603千件のうち平成23年7月から平成23年10月の間に民間住宅ローンを借入された方994件に、インターネットによるアンケート調査(10/14～10/31)を実施し、各月毎に先着順に回答があった民間住宅ローン利用者694件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者89件について集計を行った。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n= 694)
うちフラット35利用者 n= 89
うちフラット35以外 n= 605

- ・平成23年7月から平成23年10月までに民間住宅ローンを借り入れされた方
- ・居住用の新規の民間住宅ローン(借換え・リフォーム・土地のみの融資・アパートや投資用のローンは除き、フラット35は含む。)
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方(学生、無職は除く。)

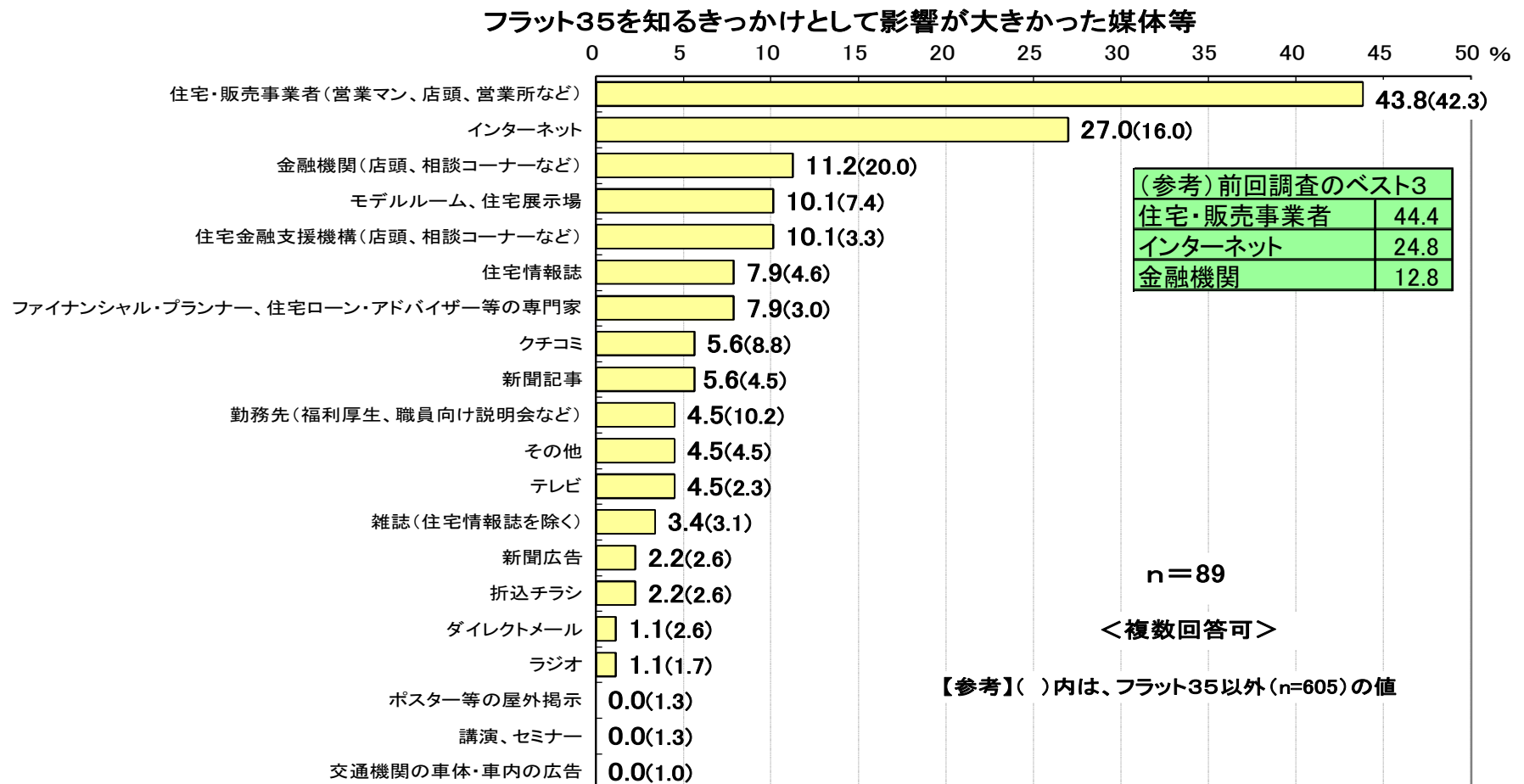
3. 調査時期 平成23年10月14日～10月31日

4. 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選びに関する事項等

平成23年12月12日
独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅総合調査室

1. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

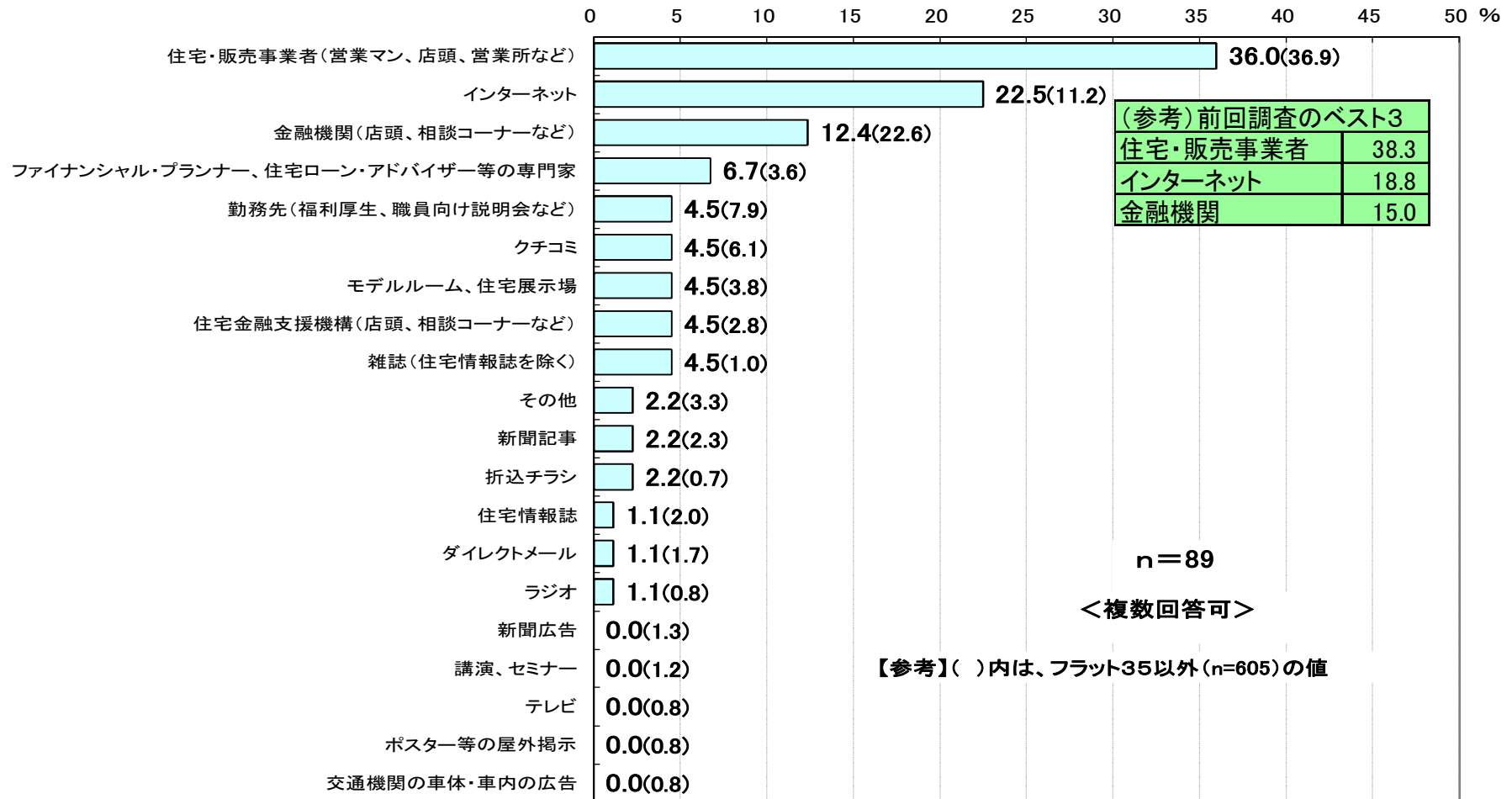
- フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が圧倒的に多く、第2位に「インターネット」が続いている。
 次いで、「金融機関」「モデルルーム、住宅展示場」等、住宅取得のための行動の中でフラット35を知る方が多い。
 ○ フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」を通じ自ら情報を集める方が多い。



2. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

- フラット35の利用を決定するに際しても、「住宅・販売事業者」「インターネット」の影響が大きい状況が続いている。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」の影響が大きく、前回調査よりも増加。

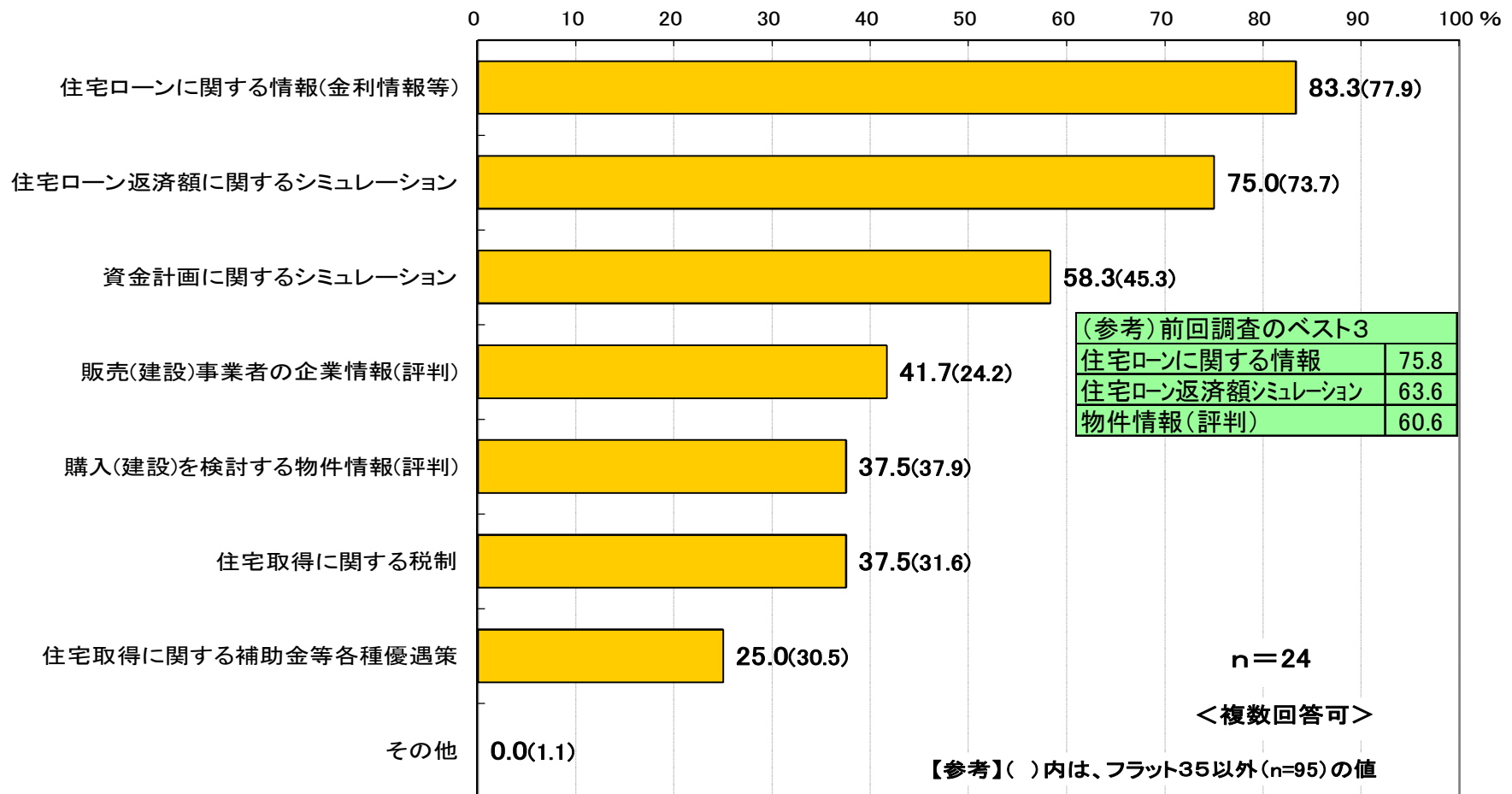
フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等



3. インターネットで収集した住宅関連情報

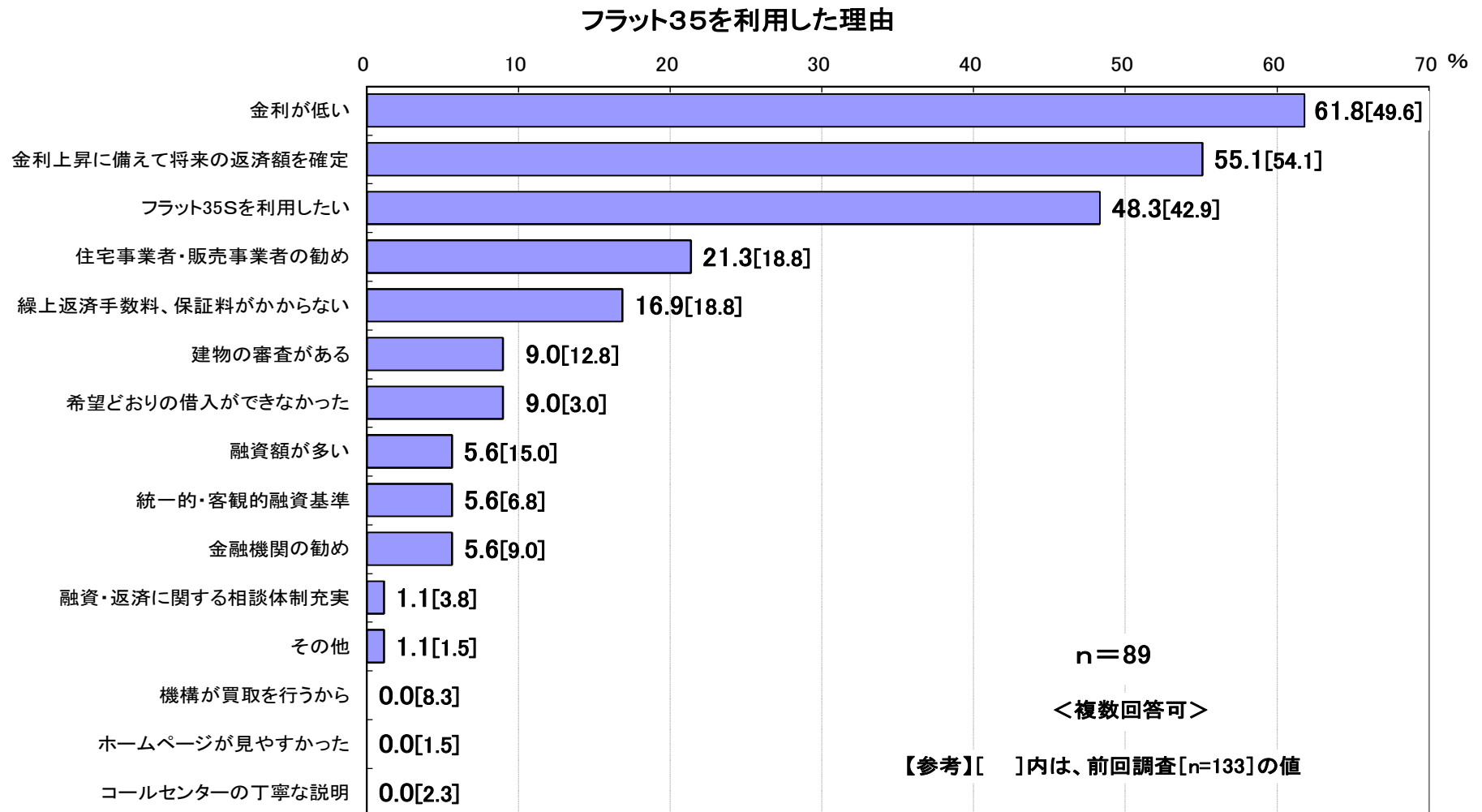
○ 住宅ローンを知るきっかけが「インターネット」の方に収集した情報を尋ねたところ、「金利情報等」が最も多く、次いで、「返済額シミュレーション」「資金計画シミュレーション」が多い状況が続いており、前回調査よりもそれぞれ増加している。

インターネットで収集した住宅関連情報



4. フラット35を利用した理由

○ フラット35を利用した理由は、「金利が低い」が前回より12.2ポイント増え最も多い。第2位は全期間固定型住宅ローンの特徴である「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」、次いで「フラット35Sを利用」の状況が続いている。
※【フラット35】Sの金利引下げ幅拡大(当初10年間の年率▲1%←▲0.3%):23年9月末までの申込分について適用

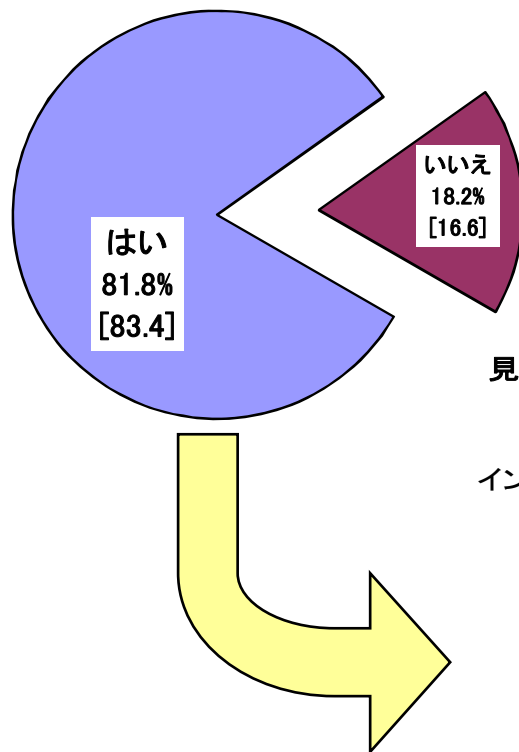


5. フラット35の認知状況（民間住宅ローン利用者全体）

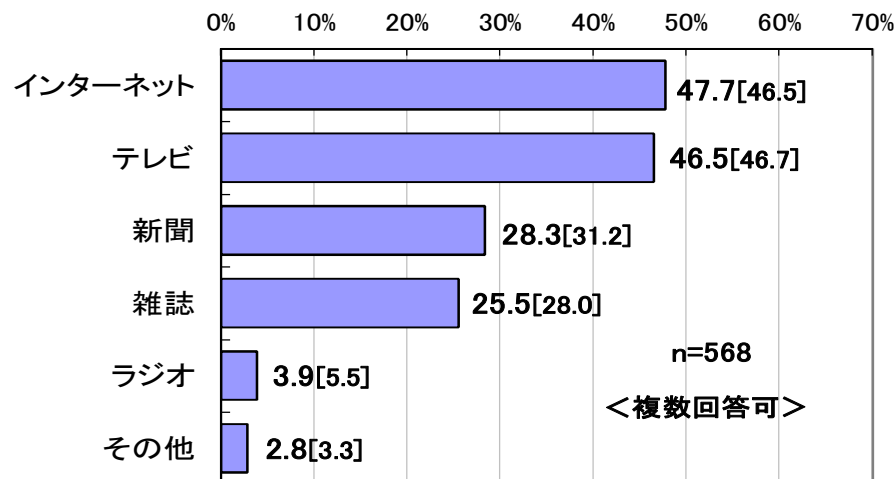
- フラット35の広告や情報を見聞きしたことがある方は、全体の81.8%と前回調査とほぼ同様の認知状況である。
- 見聞きしたことがある広告や情報の媒体は、「インターネット」が47.7%と前回調査まで1位であった「テレビ」を上回り最も多くなった。次いで、「新聞」28.3%、「雑誌」25.5%と続く傾向には変わりがない。

フラット35の広告や情報を見聞きされたことがありますか（n=694）

【参考】[]内は、前回調査[n=843]の値



見聞きされたフラット35の広告や情報の媒体は何ですか。

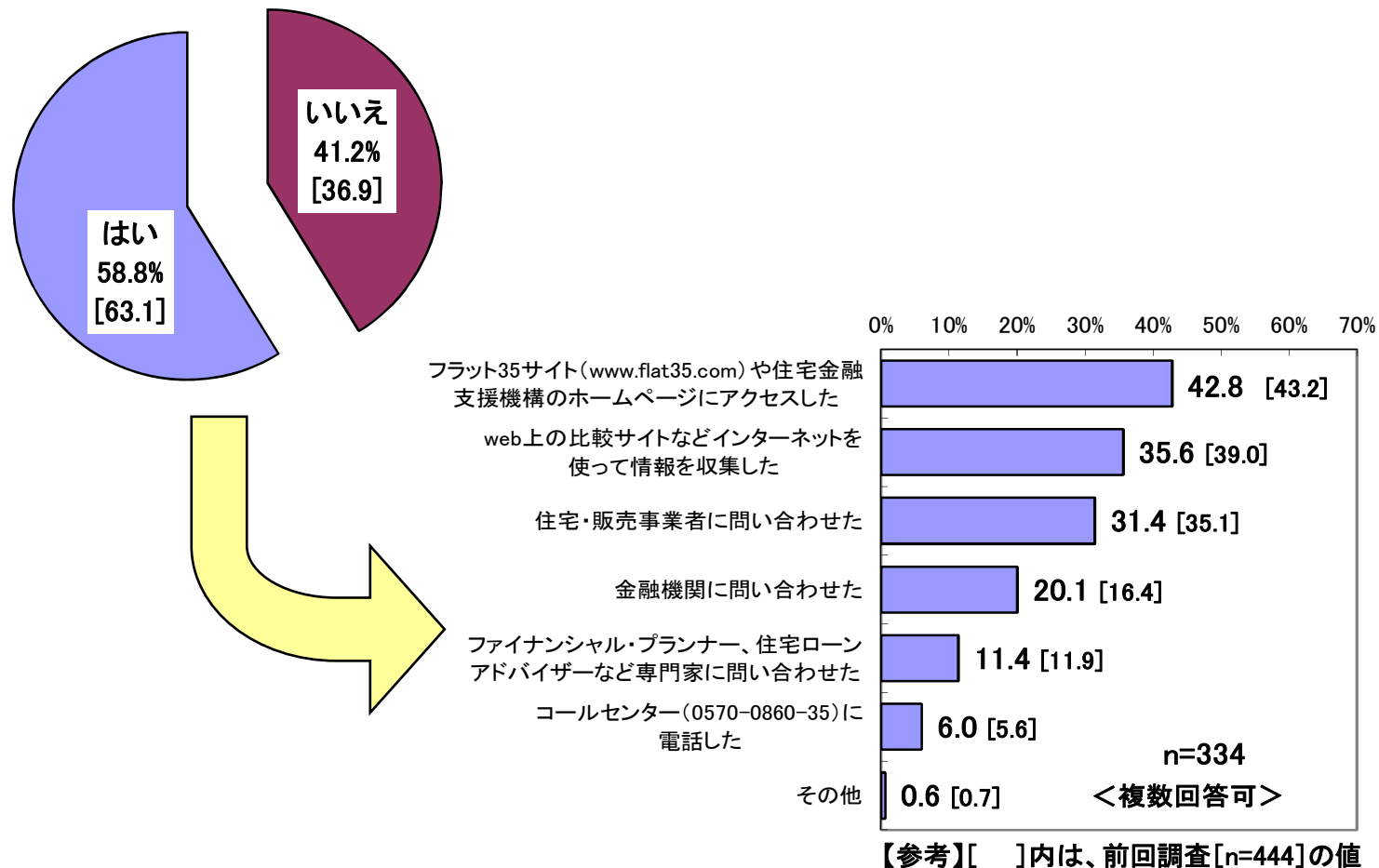


【参考】[]内は、前回調査[n=703]の値

6. フラット35の広告認知後の行動（広告を見聞きされた方）

- フラット35の広告を見聞きした後、さらに詳しい情報を得ようと行動された方は、58.8%と前回調査よりやや減少。
 ○ さらに詳しい情報を得ようとした場合で多いのは「フラット35サイトへのアクセス」が42.8%、次いで「インターネット比較サイト等での情報収集」が35.6%、「住宅・販売事業者にお問い合わせ」が31.4%と続く傾向は変わらない。

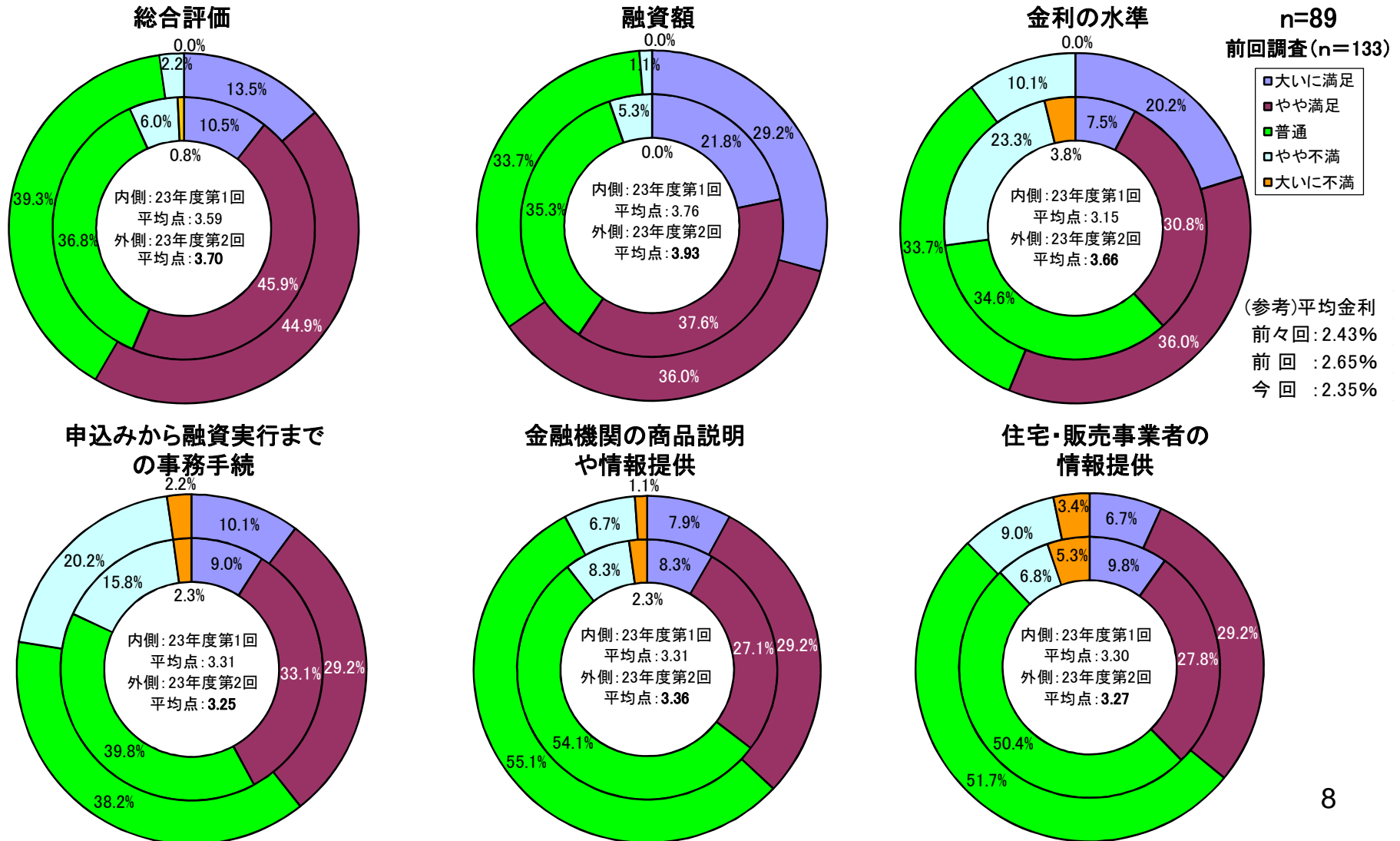
フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと思いましたか(n=568) 【参考】[]内は、前回調査[n=704]の値



7. フラット35に対する満足度

○フラット35に対する総合評価は、「大いに満足」+「やや満足」が58.4%、平均点では3.70と前回調査(3.59)より満足度は高まった。項目別では、適用金利が低下したことから「金利」についての満足度の向上が顕著である。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点



【参考】 回答者の基本属性
 【フラット35利用者】 n=89

| 項目 | | サンプル数 | 構成比(%) |
|-------|------------------|-------|--------|
| 年齢 | 20歳代 | 6 | 6.7 |
| | 30歳代 | 53 | 59.6 |
| | 40歳代 | 28 | 31.5 |
| | 50歳代 | 2 | 2.2 |
| 家族構成 | 夫婦のみ | 24 | 27.0 |
| | 夫婦と子 | 45 | 50.6 |
| | 夫婦と子と親 | 7 | 7.9 |
| | 本人と親 | 5 | 5.6 |
| | 一人世帯(単身) | 7 | 7.9 |
| | その他 | 1 | 1.1 |
| 世帯年収 | 400万円以下 | 12 | 13.5 |
| | 400万円超～600万円以下 | 32 | 36.0 |
| | 600万円超～800万円以下 | 19 | 21.3 |
| | 800万円超～1000万円以下 | 16 | 18.0 |
| | 1000万円超～1500万円以下 | 8 | 9.0 |
| | 1500万円超 | 2 | 2.2 |
| 地域 | 首都圏 | 35 | 39.3 |
| | 東海圏 | 6 | 6.7 |
| | 近畿圏 | 16 | 18.0 |
| | その他 | 32 | 36.0 |
| 住宅の種類 | 注文新築 | 53 | 59.6 |
| | (うち敷地同時取得) | 21 | 39.6 |
| | 注文建替え | 7 | 7.9 |
| | 新築建売 | 5 | 5.6 |
| | 新築マンション | 11 | 12.4 |
| | 中古戸建 | 5 | 5.6 |
| 返済負担率 | 中古マンション | 8 | 9.0 |
| | 10%以下 | 5 | 5.6 |
| | 10%超～15%以下 | 24 | 27.0 |
| | 15%超～20%以下 | 37 | 41.6 |
| | 20%超～25%以下 | 16 | 18.0 |
| | 25%超～30%以下 | 5 | 5.6 |
| | 30%超～35%以下 | 2 | 2.2 |
| | 35%超～40%以下 | 0 | 0.0 |
| 40%超 | 0 | 0.0 | |

注： 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外